

令和5年度 ケアハウスゆうあい拠点 事業計画書

Ⅰ. 拠点内容

1. サービス区分

(介護予防) 特定施設入居者生活介護 定員 46 人

2. サービス利用計画

- (1) 月間目標利用者数：46 人
- (2) 年間目標稼働率：96.0%
- (3) 年間平均要介護度：1.9

Ⅱ. サービスへの取組み

1. 運営方針

今年度、ケアハウスゆうあいは開設から 15 年目を迎えます。当施設は、「特定施設」の指定を受けることにより、入居者 2 人に対して 1 人以上の介護・看護職員を配置し、自立に向けた生活支援から入浴・排泄・食事等の介護まで、入居者の多様なニーズに柔軟に対応できる点を強みとしています。

しかし、この数年、コロナウイルスの流行により、当施設では強みを活かす機会の多くが失われています。令和 5 年度は、コロナ感染予防にかかる大幅な政策転換が予想されることから、ポストコロナを見据えたサービス提供の充実を図ります。

また、昨年以降、ロシアによるウクライナ侵攻や円安を背景としたエネルギー・原材料等の価格高騰は、施設運営にも大きく影響を及ぼしています。施設全体で積極的に業務効率の向上、無駄な経費の削減に取り組むとともに、事業運営の健全性を維持するに十分な収入の確保に努めます。

令和 5 年度は、上記を踏まえ、次の (1) ～ (4) を重点課題に掲げ事業を推進します。

- (1) 感染症予防を重視しつつ、入居者一人ひとりの自由で充実した生活を支援します。
- (2) 4S 活動(整理・整頓・清潔・清掃)の推進により施設内外の美化、行事・アクティビティの充実により、家族・地域住民との交流機会の充実を図ります。
- (3) 時間外労働及び経費の削減を徹底するとともに、介護報酬上の新たな加算取得に適う体制の確立とサービス品質の維持向上を目指します。
- (4) 地域社会で求められる福祉活動を通じて、当施設で培ったノウハウを地域社会に還元します。また、「地域における福祉拠点」として、地域住民・地域団体等と協働で、地域の困り事の解決に努めます。

2. サービスに関する取り組み

令和5年度、各部門では、当施設重点課題の解決に向け、次の取り組みを推進します。

(1) 介護部門

- 〔チームケアの推進〕 多職種協働によるチームケアの推進
- 〔質の高いサービス提供〕 担当制によるきめ細かい介護・生活援助サービスの提供
- 〔強み・特色の発揮〕 行事・クラブ活動・個別アクティビティの充実
- 〔生活の安全性確保〕 施設内感染ゼロ行動の徹底
- 〔適切なケアの徹底〕 虐待及び身体拘束、不適切ケアの徹底廃止

(2) 看護部門

- 〔チームケアの推進〕 多職種協働によるチームケアの推進
- 〔意思決定支援〕 家族・医師・職員の協働によるACP (Advance Care Planning) の推進
- 〔信頼に基づく看護実践〕 安心感・信頼感のあるコミュニケーションによる健康管理の徹底
- 〔健康の安全確保〕 感染拡大予防に対するリーダーシップの発揮
- 〔スタッフのメンタルサポート〕 スタッフの健康相談への対応・メンタルサポートの実施

(3) 栄養管理部門

- 〔ニーズに応じた献立作成〕 入居者個々の摂食状況に応じた食事サービスの提供
- 〔食による季節感の演出〕 厨房スタッフと協働による（季節・月）イベント食の計画と実施
- 〔健康の安全確保〕 感染拡大予防に対する啓発活動の推進
- 〔食事の質の維持・向上〕 食材料費等、ムリ・ムダ・ムラを省いたコスト管理の徹底

(4) 相談部門

- 〔信頼関係の維持・向上〕 入居者及びその家族の意向を最大限に尊重したサービス調整
- 〔事業の健全性確保〕 経営目標に基づく稼働率（96.0％）の確保と経営リスクの分析
- 〔新たな加算の算定〕 生活機能向上連携加算Ⅰをはじめ、現体制で算定可能な加算について検討し、取得への取り組みを進めます。
- 〔地域との連携関係の確立〕 地域における社会資源との円滑な連携と効果的な活用
- 〔情報収集と情報発信〕 介護保険法制度に関する情報収集と情報発信

3. 行事計画

令和5年度、当施設では、入居者の生活の充実に向け、次の行事に取り組みます。

(1) 施設行事

開催	行事内容
令和5年 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・お花見 ・移動百貨店 ・誕生会 ・クラブ活動（書道・手芸・朗読・カラオケ・絵手紙）・理美容
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会 ・移動百貨店 ・クラブ活動（書道・手芸・朗読・カラオケ・絵手紙）・理美容
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕飾りづくり ・移動百貨店 ・誕生会 ・クラブ活動（書道・手芸・朗読・カラオケ・絵手紙）・理美容
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕飾り ・誕生会 ・クラブ活動（書道・手芸・朗読・カラオケ・絵手紙）・理美容
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・夕涼み「スイカ割り大会」 ・移動百貨店 ・誕生会 ・クラブ活動（書道・手芸・朗読・カラオケ・絵手紙）・理美容
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・縁日「お祭り屋台&ゲーム」 ・誕生会 ・クラブ活動（書道・手芸・朗読・カラオケ・絵手紙）・理美容
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・移動百貨店 ・誕生会 ・クラブ活動（書道・手芸・朗読・カラオケ・絵手紙）・理美容
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会 ・クラブ活動（書道・手芸・朗読・カラオケ・絵手紙）・理美容
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス会「サンタとトナカイから Merry Christmas」 ・誕生会 ・クラブ活動（書道・手芸・朗読・カラオケ・絵手紙）・理美容
令和5年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年祝賀会・初詣 ・新春書初め大会 絵馬づくり ・誕生会 ・クラブ活動（書道・手芸・朗読・カラオケ・絵手紙）・理美容
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・節分豆まき ・移動百貨店 ・誕生会 ・クラブ活動（書道・手芸・朗読・カラオケ・絵手紙）・理美容
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな人形飾り ・桜飾り ・誕生会 ・クラブ活動（書道・手芸・朗読・カラオケ・絵手紙）・理美容

(2) 行事食・イベント食

開催	行事内容
令和5年 4月	・イベント食
5月	・串かつ（実演） ・イベント食
6月	・サンドウィッチ・パンバイキング ・イベント食
7月	・天ぷら・そうめん（実演） ・イベント食
8月	・縁日「お祭り屋台」 ・イベント食
9月	・小鍋付き祝い膳 ・イベント食
10月	・特選海鮮丼 ・イベント食
11月	・握り寿司（実演） ・イベント食
12月	・クリスマス会 ・イベント食
令和6年 1月	・おせち料理 ・イベント食
2月	・小鍋付き祝い膳 ・恵方巻 ・イベント食
3月	・とんかつ（実演） ・甘酒・ひなあられ ・お花見弁当

Ⅲ. 職員体制・人材育成

1. 職員配置

職種	勤務形態	人数	常勤換算
施設長	常勤	1	1.0
生活相談員	常勤	1	1.0
介護員	常勤	22	22.0
看護師	常勤	2	2.0
	非常勤	1	0.8
介護支援専門員	常勤	2	1.0
管理栄養士	常勤	1	1.0
事務員	常勤	1	1.0
理学療法士	非常勤	1	0.1
入居者：看介護職配置		1.9:1	

2. 人材定着・人材育成

(1) 人材定着への取組み

〔ハラスメント防止〕事業所内ルールの明確化、職員教育を通じて、ハラスメントのない快適な職場環境を維持します。

〔有給休暇率の向上〕フロア別の交替制付与方式を採用することにより、有給休暇取得率70%以上を目指します。

〔残業時間の削減〕業務効率化と職員配置の適正化、感染症によるスタッフの欠員予防に資する健康管理に努めることにより、残業時間の削減を図ります。

(2) 人材育成への取組み

〔キャリア形成〕スタッフ一人ひとりが成長実感を得ることができるよう、キャリア・能力に応じた目標設定と目標達成に向けた支援を推進します。

〔チーム力強化〕全てのスタッフが、チームとして品質の高いサービスを提供できるとともに、中堅スタッフが、次代の管理職を目指せる職場環境の醸成に努めます。

3. 研修プログラム

種別	研修名	対象
必須研修	虐待予防研修 (1) (2)	全職員
	身体拘束廃止研修 (1) (2)	全職員
	個人情報・プライバシー保護研修	全職員
	認知症・認知症ケア研修	全職員
	倫理・法令遵守に関する研修	全職員
	事故発生・事故再発防止研修 (福祉用具含む) (1) (2)	推薦職員
	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	推薦職員
	介護予防・要介護度進行予防に関する研修	推薦職員
スキルアップ研修	接遇力向上研修	希望職員
	介護技術向上研修	希望職員
	ケアプラン作成 (基礎) 研修	希望職員
マネジメント研修	リスクマネジメント研修	管理職
	リーダーシップ・チーム形成研修	管理職
	コミュニケーション力向上研修	管理職
	ハラスメント防止研修	管理職

その他、法人合同による研修プログラムを実施

IV. 会議・委員会

1. 会議

会議	開催	主な検討項目
リーダー会議	毎月	ケア品質の改善・職員教育・行事
フロア会議	毎月	担当する入居者の個別ケア・フロア行事
給食会議	隔月	食事サービスの品質改善・行事食の計画（奇数月開催）
ケアプラン会議	半年	施設サービス計画（施設ケアプラン）の立案・評価
職員定例会議	毎月	全事業所の月次実績報告・施設管理・全体行事の計画

2. 委員会

委員会	開催	主な検討項目
入居判定委員会	毎月	待機者情報の共有・新規入居者の選定
リスクマネジメント委員会	毎月	事故発生状況の共有、事故の再発防止策
虐待防止委員会	毎月	虐待リスクの抑制、虐待防止研修の企画
身体拘束廃止委員会	毎月	身体拘束の把握、研修の企画
感染対策委員会	毎月	感染症の発生状況把握・蔓延防止対策
ヒヤリハット委員会	毎月	ヒヤリハット集計・重要ヒヤリハットへの対策

3. 委員会（鴨子ヶ原エリア合同）

委員会	開催	主な検討項目
感染対策委員会	随時	流行性感染症発生状況把握、蔓延防止策の検討
災害対策委員会	毎月	災害・火災避難訓練等の計画・実施
衛生管理委員会	毎月	職員のストレスチェック・健康診断・労務災害等の状況把握と改善策の検討

V. 防災計画

防災訓練・研修

開催月	訓練・研修
6月	地震災害（シェイクアウト訓練を含む）
7月	火災避難訓練（日中想定）
8月	火災マニュアル点検
9月	防犯訓練
10月	台風・土砂災害避難訓練
11月	災害マニュアル点検
1月	備蓄食点検研修
2月	火災避難訓練（日中想定）

VI. 事業収支計画

2023度（令和5年度）資金収支計画に沿って、適正に事業を推進します。

以上